

総合医療学（－General Medicine－）

I 教育の基本方針

【総合内科グループ】感染症を含むプライマリケア領域の臨床研究及びそれに関連した基礎研究を遂行することを教育目標としている。基本方針として独立して研究できる研究者の育成を目的とする。

【予防医学グループ】がんや動脈硬化性疾患に代表される生活習慣病の発症予防を最終的な目標に、臨床データを多面的に解析することにより各疾患の発症や経過にかかわる因子の同定や新たな活動性マーカーの開発に取り組んでいる。

【感染症グループ】病原微生物による様々な臨床的病態に関わる障害をいかに診断し治療していくかを究明することを教育目標としている。そのための最新の知見・技術を習得し、主体的に研究テーマに臨床的アプローチを行ない、研究を遂行できる臨床医を育成する。

II 年次毎の到達目標

1年次	各疾患について幅広い知識を習得し、診断・検査手技を身につける。
2年次	各疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案する。関連病院において診断と治療を修得する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	研究成果を原著論文にする。学位取得。

III 担当教員・研究テーマ

教授	松田 剛明	バクテリオファージの臨床応用
教授	岡本 晋	メタボリックシンドロームの新規マーカーの検索とその発症予防
教授	長谷川 浩	高齢者救急およびフレイル・認知症の研究
准教授	徳永 健吾	ピロリ菌が関与する生活習慣病の病態解明
准教授	倉井 大輔	マイコプラズマ感染症の病態に関する研究

IV 研究指導補助教員

助教 三好佐和子

V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2019	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	臨床医学研究棟3階303号、5階501号、総合診療外来、健康医学センター、HCUカンファレンスルーム						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、総合内科学、感染症学、予防医学の各部門において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<p>【総合内科グループ】</p> <p>バクテリオファージのメカニズム等を理解し、新しい研究計画を立案する。プライマリケアや救急診療に関する臨床研究やシミュレーション教育に関する研究の計画、立案ができる。運動生理学、循環生理学、一過性意識障害（失神）、環境医学（温熱環境など）に関する基礎研究、臨床研究の計画、立案ができる。</p> <p>【予防医学グループ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 <p>【感染症グループ】</p> <p>特論で学ぶ「組織培養、細菌培養、PCR法、サイトカイン測定法（ELISA）」などを、実際に研究テーマを計画立案し実行するなかで手技を修得する。</p>						
学習内容	最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。						
授業計画	履修者の研究内容によって、個別指導を行う。 講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。						
準備学習と授業外学習方法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。 CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	口頭試問の実施（100%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	臨床医学研究棟3階303号、5階501号、総合診療外来、健康医学センター、HCUカンファレンスルーム						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、総合内科学、感染症学、予防医学の各部門において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<p>【総合内科グループ】 計画、立案した臨床研究、基礎研究の遂行。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）サイクル（PDCAサイクル）の遂行。</p> <p>【予防医学グループ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 <p>【感染症グループ】 特論で学ぶ「組織培養、細菌培養、PCR法、サイトカイン測定法（ELISA）」などを、実際に研究テーマを計画立案し実行するなかで手技を修得する。</p>						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	履修者の研究内容によって、個別指導を行う。 講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	口頭試問の実施（100%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	臨床医学研究棟3階303号、5階501号、総合診療外来、健康医学センター、HCUカンファレンスルーム						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<p>【総合内科グループ】 適切な統計手法を用いた研究結果の解析とそれに対する適切な解釈と理解。必要に応じた追加研究の遂行</p> <p>【予防医学グループ、感染症グループ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	履修者の研究内容によって、個別指導を行う。 講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	研究成果の発表 (100%)						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2019	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	臨床医学研究棟3階303号、5階501号、総合診療外来、健康医学センター、HCUカンファレンスルーム						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<p>【総合内科グループ】 研究結果に関連する過去の研究論文のまとめ。学会発表と学位論文の作成。</p> <p>【予防医学グループ、感染症グループ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の成果を原著論文とする。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	履修者の研究内容によって、博士論文に向けて個別指導を行う。 講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。						
準備学習と授業外の学習方法	今回指導した内容に基づき次回までに論文原稿の当該箇所を修正しておくこと。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	論文の作成 (100%)						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						